

♪ 楽しく子育て ♪ 気軽に交流 ♪

保育士と手遊びをして遊ぶ親子連れ(6月11日)



子育て支援センター「あいあいポケット」では、平日忙しい人でも利用できるよう、毎月第2土曜日も開設し、親子で遊べる場を提供しています。

「あいあいポケット」にはボールプール、すべり台、ままごとコーナーなど、子どもたちが自由に遊べるプレイルームがあります。

仕事が終わったお父さんもお母さん、ボールやおもちゃで遊ぶ親子や、他の子どもと一緒に遊ぶお父さん

親子で遊べる場提供

の姿も。室内は親子の楽しそうな笑い声が響いていました。

ほかにも、保育士との手遊びや、この日は特別に地域の人がボランティアで絵本の読みかせをするなど、楽しい一日となりました。

初めて参加したという倉賀晋一郎さん(37)は「外の世界と関わる子どもの様子が分かってよかった。専任の保育士さんが気軽に声をかけてくれるのも安心できます」と話していました。

一緒に学んで交流深める

八幡支援学校、京都八幡高校

八幡支援学校に通う児童生徒と京都八幡高校南キャンパスの生徒が、音楽や工作などの授業でふれあう「授業交流」を6月21日に行いました。

この試みは、両校が同じ敷地内にあることから、児童生徒同士が共生社会を目指して昨年実施しています。

この日は人間科学科2年生30人が、支援学校中学部の生徒のクラスなどを訪れ、音楽、工作やゲームな

どを通じて交流しました。

音楽の授業で交流したクラスでは、タンバリンや鉄琴などの楽器を使って曲を演奏。また、バランスボールに乗り、手をつないで「ドラえもん」などの曲に合わせて飛び跳ねると、お互いに自然と笑顔がこぼれました。

授業交流に参加した京都八幡高生の赤澤涼加さん(17)は「最初は緊張していたと思うけど、だんだん笑顔になってくれて、うれしかった」と話しました。



音楽に合わせてバランスボールで遊ぶ生徒たち

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



スポーツの楽しさを学ぼう!!

原田裕花さんのバスケット教室

アトラクタオリピック出場場の原田裕花さんを招いた「バスケットボール教室」が6月2日、八幡小学校で行われました。

この教室は、文科省の「子どもの体力向上啓発事業」の一環。児童がトップアスリート等と接することでスポーツに親しみ、体を動かす楽しさを学んでもらうことを目的にしています。

同小6年生約80人が参加し、パスやドリブルなどの基礎練習を通じてバスケットボールを送りました。

最後に原田さんは「何事もあきらめない気持ちでオリピック出場につながった。夢や目標を持って勉強や運動を頑張ってほしい」と児童にエールを送りました。

子どもたちが佐藤九段に挑戦

第13回佐藤康光杯
争奪将棋大会

八幡市出身の佐藤康光九段(41)を迎えた「第13回佐藤康光杯争奪将棋大会」が6月12日、市文化センターで開催されました。

地元をはじめ、近畿地方を中心に6~83歳の将棋愛好家たち192人が集まり、4階級別トーナメント戦で腕を競いました。小学生以下の初級者には、佐藤九段による多面指しもありました。

佐藤九段は「昨シーズンは順位戦でA級に復帰し、2つの大会で優勝できてホッとしている。また、舞台上で自分の将棋をアピール

したい」と、あいさつすると、参加者から大きな拍手が起きました。

トーナメントの対局を見学後、佐藤九段は小学生以下の初級者と一度に対局する多面指しを行いました。決着がつくと、勝負の分かれ目となった場面を振り返り、丁寧にアドバイスしていました。

佐藤九段の大ファンの手島源志くん(8)は「勝ちたかったけど、佐藤九段はとても強かった。将来は佐藤九段のようなプロ棋士になりたい」と話しました。



子どもにアドバイスをする佐藤康光九段